

目 次

P1	支部長あいさつ	支 部 長	小黒 幸市
P1	公益社団法人 日本技術士会栃木県支部 平成28年度年次大会報告	支 部 幹 事	稲葉 茂
P2	講演会『栃木県工業振興課における技術振興施策について』	支 部 幹 事	篠原 正美
P3	『第46回日韓技術士国際会議開催に係る運営について』	支 部 幹 事	西谷 元則
P3	平成28年度新合格者歓迎会・懇親会報告	支 部 幹 事	新井 達雄
P4	茨城県支部主催『福島第1原子力発電所』見学会参加報告	支 部 幹 事	川上 寛児
P4	第1回PEA 栃木県支部「スキルアップ研修会」報告		
P4	PEA-01「元気なホンダ、その秘密を探る」	支 部 幹 事	宮下 治
P5	PEA-02「企業における創造性向上策を考える」	支 部 幹 事	新井 達雄
P5	PEA-03「すばる望遠鏡の開発に携わって」	支 部 会 員	金澤 政和
P5	PEA-04「防災・減災について」	支 部 会 員	大井 隆資
P7	7.14 my 宇都宮 2016「わくわくどきどきサイエンス」	支 部 幹 事	西谷 元則
P7	第7次 浙江省訪問記	支 部 長	小黒 幸市
P10	栃木県支部広場		
	2016年 小学生を対象にした理科教室ボランティアスタッフ募集		
	コラム 真岡市の「専修寺 御影堂」	支 部 広 報 委 員 会	大岩 正通
P11	平成27年度 行事予定表	支 部 広 報 委 員 会	
P12	協賛団体の紹介 「有限会社 那須化成」		

支部長あいさつ

支部長 小黒 幸市

6月4日に年次大会を開催し平成28年度の支部活動方針を申し述べました。昨年度に増して活発な活動をいたして参りたいと思います。

昨年度も“会員の顔の見える会”をモットーに会員の交流・資質の向上を図ってきましたが、目標とする成果に向けてさらに本年度はCPD講座、見学会、会員同士の業務経験披露等を充実させていく所存です。

“地域の人と文化と技術を繋ぐ架け橋に”を目指し、官・学・産との繋がりを強化して、更なる地域貢献を図りたいです。

また本年10月2・3・4日に第46回日韓技術士国際会議が当県の日光鬼怒川温泉にて開催されます。

統括本部交流委員会の下、当県支部が運営協力する立場で準備を進めています。支部会員全員が一丸となって取り組み、是非成功させたいと思っています。

協賛団体の皆様には今後ともご協力・ご支援を賜りますようお願いいたします次第です。



公益社団法人 日本技術士会

栃木県支部 平成28年度年次大会報告

支部幹事 稲葉 茂

1. はじめに

平成28年6月4日、日本技術士会栃木県支部の年次大会がホテル丸治(宇都宮市)で開催された。公益社団法人日本技術士会栃木県支部は、発足後4年を経過し、今回は栃木県支部としては5回目の年次大会にあたる。

年次大会には31名の技術士が出席し、その後の講演会、報告会、新合格者歓迎会、懇親会には新合格者、協賛団体を含めて約40名が参加した。

2. 議事次第

司会は黒須副支部長、久芳副支部長の開会宣言で始まり、以下の内容で議事進行した。

(1) 支部長挨拶

冒頭、小黒支部長より日本技術士会の公益社団法人化にあたり、地域本部がない関東の8つの県に支部が設置された経過が説明された。

また、発足から4年が経過し、モットーである会員の顔が見える会を目指しているが個人情報の課題があり思うように進まない。今後は、会員の交流を深めるとともに会員の拡大を目指す事業を行うなど活発な活動を展開していく。

本年の日韓技術士国際会議は、県支部が運営協力を行う初の試みである。今日のメンバー全

員でも足りない、とできるだけ大勢の方々が参加されるよう募った。



小黒支部長あいさつ

(2) 報告事項

1) 平成27年度事業経過報告、収支実績及び監査報告

久芳副支部長より平成27年度事業経過報告(概要)報告と各委員会報告があった。新井幹事より平成27年度収支実績報告があった。また、監査結果が篠原監査員によって報告された。

2) 平成28年度活動方針について

小黒支部長より、「公益社団法人として日本技術士会の目的に沿った支部活動」また、県支部の基本方針として、①会員の顔の見える会を目指す、②地域の人と文化と技術をつなぐ架け橋を目指す、③会員の拡大と業務拡大に努める、④第46回日韓技術士会議(栃木県・日光)を成功させる、⑤中国浙江省との交流継続、⑥4S(Speedy、Strategic、Sensitive、Smile)の心がけ等の活動方針が示された。

3) 各委員会の平成27年度実績

と平成28年度事業計画

総務委員会黒須、企画・研修委員会宮下、業務委員会篠原、広報委員会西谷、国際委員会福田、地域企業支援小委員会羽山、地域支援小委員会稲葉、環境支援小委員会川上、日韓国際会議運営委員会田仲の各委員長から、それぞれの委員会活動について平成27年度実績と平成28年度計画の説明があった。

4) 栃木県支部平成28年度収支予算

新井幹事より平成28年度予算の説明があった。

3. おわりに

会員より①企業訪問の候補として「ファンック」を検討②技術士として何ができるのか? 「パネル作成」の2件の要望があった。最後に小黒支部長より協賛23社へのお礼が

述べられ時間通り無事終了した。



年次大会の様子

講演会報告

「栃木県工業振興課における

技術振興施策について」

支部幹事 篠原 正美



講師：中川 友也 氏

(産業労働観光部工業振興課

ものづくり企業支援室 主査)

平成28年度(公社)日本技術士会・栃木県支部の年次大会終了後栃木県の中小企業支援策など県活動及び概要について講演していただいた。参加者35名

テーマ：栃木県工業振興課における技術振興施策について

講師：栃木県産業労働観光部工業振興課

ものづくり企業支援室 主査 中川友也 氏

初めに県全体の近況を栃木県民生部発行の「栃木の魅力・実力ランキング」に基づき説明が行われた。

全国的话题として栃木県は、i) 県民所得一人当たり32万5千5百円(全国第5位)、ii) JRディステーション・キャンペーンに指定、iii) 2015年度全国魅力度35位に上昇(前年43位)その他、食、工業製品、歴史・文化など

誇れる産業が多数存在している。

続いて、栃木県の重点施策、演者の所属する産業労働観光部の主な業務について説明された。

○県新戦略

1 栃木県版まち・ひと・しごと創生総合戦略-とちぎ創生 15 戦略

国の地方創生戦略を受けて作られたもので、今後減り続ける人口の問題について対策と将来の方向について四つの基本目標のもと 15 の戦略が立案されている。栃木県の人口は、現在 207 万人であるが 2060 年には 120 万人を下回ると予測されている。

2 栃木県重点戦略 とちぎ元気発信プラン

「人も地域も新に輝く魅力あふれる元気な「とちぎ」」の標語の元 5 つの戦略を立て 5 ヶ年計画で「人づくり」、「成長戦略」、「豊かな暮らし」、「快適さ」、「文化継承」を目指すこととなっている。

3 栃木産業成長戦略

産業労働観光部の業務となるが 2016 年～2020 年の 5 ヶ年計画にて 5 つのプロジェクトに取り組んでいる。プロジェクト名は「ものづくり産業パワーアッププロジェクト」、「新たな成長プロジェクト」、「グローバル展開プロジェクト」、「企業誘致プロジェクト」、「観光立県プロジェクト」であり、海外進出も視野にグローバル化が図られている。

4 栃木の産業構造（県内総生産）

県内産業の経済指数など現状報告がされた。県内総生産額は、7 兆 7,379 億円で全国 16 位であるが県民所得は全国 5 位の 325 万 5 千円となっている。県の実質経済成長率は 6.5%アップと上昇率全国第 2 位を占めることとなった。

○産業労働観光部工業振興課業務

当課は、ものづくり企業の支援を目的とする部門であり、ものづくり企業支援室（2 チーム）と産業技術センター（外部 4 センター）からなっている。主な業務は

- ・ 国の競争的資金確保の相談業務
- ・ 重点振興産業分野の振興
- ・ ものづくり企業支援
- ・ フロンティア企業の認証・支援
- ・ 県ものづくり技術強化補助金交付
- ・ 国庫補助事業への県対応
- ・ 実験機器の開放、依頼試験、技術相談、研究開発、人材育成、情報提供 など。

以上、約 1 時間に渡って説明いただいた。

○感想

毎年、産業労働観光部の講師より講演をいただいているが、栃木県の置かれた立場など興味深い話を聞くことができ大変有意義であった。中小企業の活動、県経済活動、農産物生産活動など絶えず上位を占めているにもかかわらず、本県の知名度はあまり高くないなど課題が山積していることを認識できた講演会であった。

技術指導を主な業務とする栃木県支部の技術士にも、今後の使命など再確認する機会になったものと思う。

平成 28 年度 報告会 『第 46 回日韓技術士国際会議

開催に係る運営について』

支部幹事 西谷 元則

今年の 10 月 2～3 日に本県日光市で開催される第 46 回日韓技術士国際会議について、運営委員会の田仲喜一郎委員長、福田一郎事務局長、羽山定治研修・視察担当、田崎瑞穂サッカー担当から説明及び参加協力願いがあった。



平成 28 年度新合格者歓迎会・懇親会報告

支部幹事 新井 達雄

今年は、3 名の合格者の出席でした。

今後とも本支部の活動に参加して頂ければと思います。



合格者の皆さん

茨城県支部主催

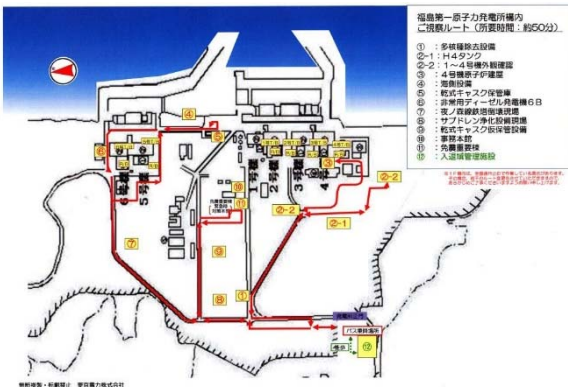
「福島第1原子力発電所」見学会参加報告 支部幹事 川上 寛児

2016年5月23日

参加者：阿部定好氏、後藤廣氏（茨城県支部）他、計31名

1. 見学内容：

- 1) Jビレッジにて説明：緊急時の対応、原発の事故時経過、状況説明など。
- 2) 敷地内見学：下関赤線ルート（構内専用バスから下車せず）靴カバー、綿手袋着用
- 3) 見学終了後Jビレッジに於いて質疑応答



構内見学バスルート（赤線）

2. 感想その他

*主要地点の放射線量（ $\mu\text{Sv/h}$ ）：櫛葉町 0.5、富岡町 1.0、大熊町 1.2~5.5、F1ゲート前 7.8 など

F1；4号機近辺 12.4、5、6号機 7.3

*汚染水タンク：~700ト/日発生。10日ごとに2、3本ずつ増加し、核種除去設備稼働後もトリチウム残存のため廃棄できず、深刻な課題になっている。

*敷地内発生の廃棄物は全量放射性廃棄物扱いで全種類敷地内保管。

*原子炉運転用の66kV送電線鉄塔の1本が倒壊時のまま残されていた。地震そのものでなく土手からの土砂崩れで倒壊したとのこと。事故主犯の一つであり感慨深い。

*個人線量計（各人に貸与）：全員0.00mSv表示⇒被曝量 $<5\mu\text{Sv}$ 以下。

*福島県に於いて風力発電を利用した水素ガス生産計画がある。汚染水を電気分解し、得られた水素ガスを遠心分離でトリチウムを除去できないだろうか。古い技術であるが流体論理素子を多段接続すれば少ないエネルギーで遠心分離可能な静止型装置が実現すると考える。

第1回PEA 栃木県支部

「スキルアップ研修会」報告

この研修会は、協賛団体向に所属する社員のスキルアップと日本技術士会栃木県支部会員の交流を目的にしています。開催は、平成28年7月22日（金）9時~17時、会場は（公社）栃木県国際交流協会多目的ホールでした。講演プログラムは4編で協賛団体1名、会員3名、参加者は協賛団体9名、会員19名、講師4名で合計32名でした。

（企画・研修委員長 宮下 治）

プログラム番号：PEA-O1

「元気なホンダ、その秘密を探る」

支部幹事 宮下 治



講師：栃木県支部協賛団体

人創り工房 Y&K コンサルティング
代表 萩原 良章様

PEA-O1「元気なホンダ、その秘密を探る」協賛団体の萩原好章さんの発表について記します。講演についての内容は以下のとおりです。1. 創業者の言葉 2. 基本理念の徹底~新入社員からOBまで 3. 競争力の源泉は「人間尊重経営」4. 三つの喜び 5. 尊敬できるトップの存在~リーダーシップを考える 6. 抜群の自己変革力 7. ホンダ発展の原動力は何か 8. 企業や組織の永続的發展に大事なこと 9. 人生成功哲学 ホンダに入社して、主に購買を担当してきた経験から経営の在り方について、発表がありました。経営はトップの器で決まる。創業者の言葉が心に残った。創業者は、本田宗一郎氏である。相棒は藤沢武夫氏である。経営の哲学について語る。

• 基本理念の徹底（理念なき行動は凶器、行動なき理念は無価値）

• 人間尊重経営（企業を動かす要素は人が大事
⇒考えることの最初に人をおくこと）

・三つの喜び（買って喜び、売って喜び、造って喜び）

・尊敬できるトップの存在

・永続的発展（こつこつ カツカツ 徹底とヤリキリ）

・人生成功哲学（“私はできる” そう考え続けている人が勝つのだ）

講師が人生の中で、「ホンダという会社」に出会えたことが幸運だったと感じました。私も自分の人生を振り返るきっかけとしたいと思います。

プログラム番号：PEA-02

「企業における創造性向上策を考える」

支部会員 新井 達雄



講師：栃木県支部会員(電気電子部門)

川上 寛児様

PEA-02「栃木県内企業の創造性向上」と題して、会員の川上寛児様に講演を頂きました。

川上様は、日立製作所に勤務され、「いげん」の計測システム開発に長く携わられた経験をお持ちです。

講演は、1.「飯椀と汁椀」の話から始まりました。それは、モノの形には、そこに至る道理と必然性があり、モノをよく観ることで、日常の中にまだまだ新しい発見が出来るという話題から始まりました。

講演内容は、以下のとおりです。2.「将来のAIの進歩と普及に備える」AI（人工知能）の発達は社会や職務の在り方まで変えてしまう。AIに置き換わってゆくものと人間にしか出来ないものを意識しながらより創造性を高めることが重要である。3.「創造性の企業戦略」大企業に負けないためには柔軟な発想と臨機応変な行動力が必要。4.「経営戦略と技術開発目標を

整合させる」創造活動は散発的であり、経営者が方針を示し活動範囲を集約し、密度を高めることが必要。5.「アイデアの成功確率」。ヒラメキが大ヒットになる確率は1万分の1程度である。アイデアを集め、ふるいにかけ、戦略的に進める。止める時の判断も重要である。6.「創造の戦術」自社の創造性を向上させる仕掛け作りの話。顧客のニーズを集め、目標を与え、こんなものが欲しかったのだ！を発掘する仕掛け。つまらない、ムダ、不便はアイデアの宝庫である。7.「温故知新」他人が忘れた知識に宝が眠る。

川上様の講演は、経営者の在り方を説きながら、あくまでも従業員目線で、人の心をつかむやる気にさせる工夫がちりばめられていました。

ありがとうございました。

プログラム番号：PEA-03

「すばる望遠鏡の開発に携わって」

支部会員 金澤 政和



講師：栃木県支部会員(機械部門) 羽山 定治様
1 概要

羽山氏(羽山技術士事務所代表)が約20年前に携わった「すばる望遠鏡」建設プロジェクトについて講演された。主な内容は、ハワイ島の国立天文台ハワイ観測所における「すばる」望遠鏡の建設プロジェクトの説明と羽山氏の専門技術である静圧軸受についてである。特に532トンの望遠鏡本体を支えて精密に動作するには、大型工作機械等で利用されている「静圧軸受」しかなかったとの説明を受けると同時に、建設中に遭遇した火災事故という困難を乗り越えてこのプロジェクトを達成したことに感銘した。

2講演内容

講演は羽山氏の自己紹介で始まり、以下の順番で丁寧に説明された。

①「すばる」とは、②ハワイ島の国立天文台ハワイ観測所、③「すばる」望遠鏡について、④ハワイ観測所の建設、⑤羽山氏が「すばる」望遠鏡に携わった経緯、⑥静圧技術と大型工作機械及び大型望遠鏡、⑦「すばる」望遠鏡の静圧軸受、⑧「すばる」望遠鏡の主鏡、⑨ハワイ島の「すばる」望遠鏡ツアー、⑩「すばる」望遠鏡の現在と今後について、⑪次世代大型望遠鏡（TMT）について

「すばる」望遠鏡が建設される以前は日本では、岡山天体観測所の望遠鏡が最大であったが、それをを超える精度を持つ望遠鏡として宇宙の貴重なデータを得るという大きな目的を持って「すばる望遠鏡建設プロジェクト」が計画された。そのため、観測条件の良いハワイ島マウアケナ山頂（標高4200m）に日本で初めて外国に天文台観測所を建設することとなった。羽山氏がこのプロジェクトに関わった理由は、羽山氏が当時在職していた東芝機械（株）で大型工作機械の静圧軸受の開発に携わっており、同社が本プロジェクトの「すばる」望遠鏡の静圧軸受システムを受注したことから、羽山氏の経験と技術が期待されたのである。講演の中で「すばる」望遠鏡の回転部重量532トンという高荷重を僅か数十 μ mという厚さの静圧油膜で支え高精度で移動するという技術を開発し本プロジェクトの完遂に貢献したことに深く感銘を覚えた。本プロジェクトの中で特に苦労された点が羽山氏からいくつか紹介されたが次の3点が強く印象に残った。1点目は、望遠鏡が設置されるドーム内の温度は結露防止のため、外気温と同じで厳しい作業環境であったこと、2点目は、工事期間中に発生した火災により設備が、焼失しただけではなく、作業員が死亡し工事が遅れたこと、3点目は、4000mという高山での作業のため、作業員が高山病にかかる等健康面で厳しい環境だったこと等であり、羽山氏を含めた建設に係ったすべての技術者、作業員の命をかけたプロジェクトであったとの話に感動した。

現在、「すばる」望遠鏡は世界中の天文学者にも開放され、見学も可能となっているとのこと。

プログラム番号：PEA-04

「防災・減災について」

支部会員 大井隆資



講師：栃木県支部会員（建設・総監部門）

稲葉 茂 様

関東地方では、7月17日から20日にかけて最大震度4の地震が3回発生しました。

そうした中、NPO法人栃木県防災士会理事長でもある稲葉氏から「防災・減災について」幅広い視点から講演いただきました。

講演では、リスク・危機管理教育の必要性に関連し、東日本大震災における釜石市の子供たちが、積極的に取り組んできた「災害から命を守る避難三原則」①想定にとらわれるな、②その状況下で最善を尽くせ、③率先避難者たれといった主体性を醸成する教育・訓練について紹介があり、今後様々な自然災害と対峙する上で参考にすべき内容と感じました。

また、地震防災の優先順位について、①命を守る（家が壊れないための建物の耐震性・安全性向上）、②大けがをしない（家具類の転倒・落下・移動防止対策の実施）がまず大事であるとの観点から講師ご自身の「我が家のリスクマネジメント、リスク評価」を紹介いただいた。

首都直下地震や南海トラフ巨大地震など、大地震発生の可能性が指摘されて久しい今日、「自分の命は自分で守る」との姿勢で、身近な自宅の防災対策の実践や備えが大事と思いました。

最後に、阪神・淡路大震災以降に示された犠牲者や被害を減らす「減災」の考え方がクローズアップされ、地域の防災力向上の重要性が再認識されている中、地域防災リーダーとして活躍されている県内の防災士の皆さんの活動を報告いただきました。

フェスタmy宇都宮 2016 「わくわくどきどきサイエンス」

支部幹事 西谷 元則

開催日：5月15日 10:00～15:00

会場：宇都宮市中央市民活動センター

入場者数：ミニカー 午前20名、午後20名
総数74名（保護者含む）

コイルモータ 午前20名、午後29名
参加数（保護者含む）合計60名

県支部出席者：久芳氏、川上氏、長山氏、木村氏、柳瀬氏、宮下氏、佐藤氏、西谷

宇都宮市民の記念事業「フェスタmy宇都宮2016」が5月15日に宇都宮市中央市民活動センター開催され、県支部として4回目の教室となりました。

今回は、昨年同様に「かんたん電池ミニカー（マグネシウム電池ミニカー）教室」、「10ターンコイルモータ工作教室」の2つの体験教室を行い、100名を超える参加者となり、大盛況でした。

10ターンコイルモータ教室

単一電池と磁石を使って子供たちが自作し、モータの原理を勉強する体験学習です。簡単にできる実験なので、子供や保護者の方に好評でした。自分で作ったモータが回った瞬間の笑顔が印象的でした。



10ターンコイルモータ教室の様子

かんたん電池ミニカー

（マグネシウム電池ミニカー）教室

今回の教室は、これまで講師を務めて頂いていた松原さんが参加できなかったもので、責任者である西谷が講師を務めました。

冒頭に教室開催の主旨と日本技術士会のPRを行い、保護者の方に技術士の資格についてご理解いただきました。

教室の内容は、「地球温暖化」、「再生可能エネルギー」、「自動車の燃料」について勉強して、その後マグネシウム電池ミニカーの作成を行ない、ものづくりの楽しみを体験してもらいました。

完成したミニカーを、牛乳パックで作ったコースにて、子供たちに競争させていました。

参加した子供の中には、理科がきらいな子も、自分で作ったミニカーがいきよよく走ると、「ちょっと理科が好きになった」と帰っていきました。

この体験が思い出となり、将来科学技術者を目指し「技術士」取得に挑戦してもらいたいです。



かんたん電池ミニカー教室

7次浙江省訪問団報告書

支部長 小黒 幸市

1. はじめに

技術交流の覚書を取り交わしている中国浙江省対外科学技術交流中心の招待により、寧波市で開催された「2016ZJITS 国際技術・技術フォーラム ハイテク技術・技術展示および地元中小製造業者数社の工場見学・意見交換を実施して来ました。その概略を報告いたします。

2. 日程：平成28年6月6日(月)～11日(土)

3. 団員：小黒幸市(建設)
萩原良章(ソコカツ)、太田成登(経営工学)
4. 国際技術・技術フォーラムおよびハイテク技術・技術展示マッチング大会
(1)6月7日 開会式に先だち各専門部会を開催。栃木県支部・静岡県支部の3名による講演(参加者約40名)
 - 1)宮野正克氏(静岡)「ISO 基準の自社判断化」
 - 2)萩原良章氏(栃木)
「ホンダイズムを活用した経営改善の勧め」



写真-1 講演中の萩原氏

- 3)太田成登氏(栃木)「激変時代の会社のあり方」
いずれも講演も好評であった。



写真-2 講演中の太田氏

- (2)国際科学技術マッチング大会開会式
海外賓客 15ヶ国64名、浙江省238名が参加しました。
党組織書記浙江省科学技術庁長周国輝氏・浙江省人代常委会副主任 毛光烈氏の挨拶に始まり、来賓の国立研究開発法人科学技術振興機構特別顧問沖村氏、他多数の参加機関代表の挨拶があった。



写真-3 開会式

- (3)終日、各国参加者が技術パネル展示を行い、個別に説明会・商談会が行われた。



写真-4 酒井重工業(株)のホスター展示

- (4)晚餐会は周組書記が会場を回られ盛況であった。支部メンバーと談笑しました。



写真-5 周組書記を囲んで

- (5)6月8日午前中は見学会
イギリスノッチングダム大学の人材育成投資大学を訪問しました。
中国の銅材の品質基準を設定する会社及び家庭用厨房機器の換気扇製造会社を見学しました。
5. 浙江省対外科学技術交流中心が主催した永興市の地元中小製造業者との技術交流

(1)6月9日永興市に移動後セミナーの開催。
2015/11 栃木訪問に参加の工業デザイン会社：王社長の顧客メーカー約20社(経営幹部)が参加。浙江省科学技術庁曾主任、永興市科学技術局李局長の挨拶の後、萩原氏・太田氏が講演した。6/7 講演の内容を更に具体的な内容であり、質疑応答も活発に行われた。特に萩原氏の社長と社員の関係・会社は一家であるとの話には多くの質問があった。



写真-6 萩原氏の講演

(2)6月9日 製造会社3社を訪問し、現場診断・改善提案。



写真-7 メモを取る聴講者



写真-8 歓迎会食

- ① 鍋製造会社
- ② チェーンソー、草刈り機等の製造会社
- ③ フライパン・鍋製造会社

経営工学が専門の太田氏を中心に現場診断・改善提案を行った。

各社経営者・従業員とも熱心に取り組んではいりますが、工場・倉庫の整理整頓、在庫管理、ライン作業の無駄、品質不良率の高さ等、散見されるところがあり、その場で工場責任者に改善を提案した。

工場見学の後、3社共経営陣と懇談を持ち、忌憚のない意見交換を行った。

6. おわりに

中国は大きい国である。浙江省だけでも5千万人の人口を抱えており、市場の大きさは半端ではない。

その大市場の中で各製造業が凌ぎを削っている世界は、活気があり物凄いエネルギーを感じてきた。

今回訪問した3社は、まだまだ改善の余地があり、いずれ品質の優れた製品を提供する会社になることでしょう。

浙江省対外科学交流中心の王一琦主任、張要武副主任のお二人には大変お世話になり、特に張要武副主任には、滞在中のサポートをすべて行ってくださったことに、深く感謝するところであります。



写真-9 改善の提案



写真-10 診断後の意見交換



写真-11 浙江省訪問の萩原・小黑・太田

2016年 小学生を対象にした 理科教室ボランティアスタッフ募集



みらいの自動車教室



コイルモーター教室

小学生の理科離れが問題となっています。そこで、将来の科学技術者の育成のために、2012年より我々「技術士」が県支部の社会貢献活動を行なっております！
ご自身が昔、教わったことを思い出しつつご指導いただけます！
是非、ご参加をお待ちしております。

行事予定

- ★9月11日(日) 8時～16時
エンジョイカガク 2015
(会場：帝京大学宇都宮キャンパス)
9月10日準備及び
当日のプラモデルミニカー作成補助
- ★10月8日(土) 9時～16時
宮っこフェスタ
(会場：宇都宮城址公園)
当日のコイルモーター作成指導
- ★10月16日(日) 8時～16時
まちびあまつり
(会場：宇都宮まちづくりセンター)
紙コプターと色紙切抜き紙飛行機
- ★11月26日(土) 8時～16時
人づくりフォーラム
(会場：宇都宮工業高校)
11月25日準備及び
当日のプラモデルミニカー作成補助
- ★12月3～4(土～日) 8時～16時
ECO テック&ライフ 2015
(会場：宇都宮マロニエプラザ)
市貝町プロジェクトの活動報告および
当日来場者説明スタッフ

希望者は以下のアドレスに、参加イベント名と連絡先を送信ください。

また、希望を検討している方も以下のアドレスに送信ください。

環境支援小委員会 担当：西谷 元則

E-mail: m-nishitani@aep-mizukankyou.jp

＝コラム＝ (広報委員会 大岩正通)

安善寺 本堂 (あんぜんじ ほんどう)

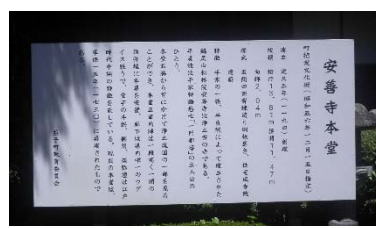
所在地：芳賀郡益子町大平 202

文化財：益子町指定文化財

今回は、芳賀郡益子町大平地区の「安善寺 本堂」を紹介します。

この寺は建久5年(1194)平家一族、平貞能(たいらのさだよし)がこの土地の豪士、河原小藤治光直の協力によって建立された寺です。平貞能は平家物語巻七「一門都落」の主人公の一人です。

現在の建物は、享保15年(1730)に再建されました。本堂は寄棟造り、五間四面で住宅風院建築であり、廊下は県内唯一のウグイス張です。



平成28年度栃木県支部行事予定表

月・日	曜日	総務委員会	企画・研修委員会	広報委員会	国際委員会	業務地域企業合同及び振興セNV推進	地域社会貢献委員会	市員プロジェクト	日韓国際会議運営委員会	CPD対象	
随時	—	月締め清算		ホームページ運営	毎月中旬例会開催				毎月例会開催 毎月本部開催：日韓交流委員会	—	
4月13日	土	第1回役員会									
4月15日	金								第1回 交流委員会		
5月14日	土	第2回役員会					FLSmy宇都宮準備会				
5月15日	日						FLSmy宇都宮				
5月19日	木								第2回 交流委員会		
5月24日	月				第1回 国際交流研究会				第1回 運営委員会		
5月28日	土							第1回会合			
6月4日	土	全体会合 第3回役員会	講演会、報告会、 合格者祝賀会	第1回 広報委員会							
6月14日	火				第2回 国際交流研究会				第2回 運営委員会 第3回 交流委員会		
7月9日	土	第4回役員会									
7月中旬	—				第3回 国際交流研究会	第1回 業務委員会			第3回 運営委員会 第4回 交流委員会		
7月17～18日		技術士二次試験									
7月22日	金		第1回研修会								
7月23日	土							第2回会合			
7月30日	水			会報9号 原稿締切							
8月2日	火					第2回 業務委員会					
8月10日	水			会報9号 編集完了							
8月25日	水			会報9号 発刊準備							
9月10日	土	第5回役員会									
9月11日	日						エンジョイ カガク				
9月16日	金		第2回研修会(予)								
9月中旬	—		見学会(予)		第4回 国際交流研究会	宇大企業交流会出 展			第4回 運営委員会 第5回 交流委員会		
9月下旬	日						よささ ウォーク				
10月2日～4日	土～月								第46回日韓会議		
10月8日	土	第6回役員会									
10月10日	月						宮っこ フェスタ				
10月16日	日										
10月中旬	—				第5回 国際交流研究会	第3回 業務委員会			第5回 運営委員会 第6回 交流委員会		
10月29日	土		科学技術講演会 (予)								
11月5日	土							第3回会合			
11月12日	土	第7回役員会		第2回 広報委員会							
11月18日	金		第3回研修会(予)								
11月中旬	—				第6回 国際交流研究会	足銀ものづくり出 展			第6回 運営委員会 第7回 交流委員会		
11月26日	土						人づくりフォー ラム				
11月未定	—				訪日団来県						
12月5～6日	土～日						ECO77&77 とちぎ2016				
12月10日	土	第8回役員会	講演会、忘年会等								
12月中旬	—				第7回 国際交流研究会				第7回 運営委員会 第8回 交流委員会		
12月25日	日			会報10号 原稿締切							
1月15日	日			会報10号 編集完了							
1月中旬	—				第8回 国際交流研究会				第8回 運営委員会 第9回 交流委員会		
1月25日	水			会報10号 発刊準備							
2月11日	土	第9回役員会									
2月中旬	—		提供講座(予)		第9回 国際交流研究会				第9回 運営委員会 第10回 交流委員会		
3月11日	土	第10回役員会									
3月中旬	—				第10回 国際交流研究会				第10回 運営委員会 第11回 交流委員会		

協賛団体の紹介



有限会社 那須化成

代表者名：代表取締役 渡邊 聡志
 所在地：〒 325-0013
 栃木県那須塩原市鍋掛 1085-796
 U R L : <http://nasukasei.jp/>
 E-mail : s-watanabe@nasukasei.jp
 T E L : 0287-64-3033
 創年月日：昭和50年8月1日
 従業員：4人
 業務内容：

- ・プラスチック樹脂射出成形
- ・3DCAD データ設計
- ・3Dプリンター出力代行
- ・3Dプリンター販売代理店事業
- ・食品販売事業



弊社は、1975年8月に東京大田区の下町工場として創業し、9年間にわたって射出成形業務を営んだのち、現那須塩原市に移転しました。その後も、時代とともに需要の変化する射出成形品を高い品質で今日まで納めてまいりました。

一方で、ここ数年の景気変動から、下請け脱却を目標とした新事業を新たに立ち上げ、常に新しいものづくりを目指しております。これまで、多くの成形品を扱ってきたノウハウをもとに、3DCAD オペレーションによる精密設計事業、3Dプリンターによる精密試作事業を設立しました。現在では、工業製品設計試作や博物館所蔵となるレプリカ品の製作、近隣地域における3D技術の普及セミナーなど、地域に根差した企業を目指しております。

異業種との交流が増えてきた本年度には、防災というキーワードに着目し、長期保存食をはじめとする食品販売部門を立ち上げました。被災地、避難所生活で不足しがちなたんぱく質を補う乾燥大豆肉、物流の滞りに対する乾燥野菜など、自然災害の多い日本だからこそ、こうした備えが大切であると考えております。

地域に必要なとされ続ける企業を目標とし、今後も社員一同絆を深め、活動に努めて参ります。



協賛団体の紹介（五十音順）

当支部に協賛している団体です。

株式会社 イケヤフォーミュラ	栃木県支部会報 7号紹介
宇都宮測量 株式会社	栃木県技術士会報18号紹介
株式会社 エネルギ-応用技術研究所	
晃洋設計測量 株式会社	栃木県技術士会報12号紹介
株式会社 三和電機	
株式会社 真和技研	
株式会社 藤原設計	
株式会社 ダイミック	
株式会社 中央土木工学研究所	栃木県支部会報 創刊号紹介
東亜サーベイ 株式会社	栃木県技術士会報14号紹介
東洋測量設計 株式会社	栃木県支部会報 3号紹介
株式会社 トキタ・ac	栃木県支部会報 5号紹介
株式会社 栃木用地補償コンサルタント	栃木県技術士会報15号紹介
★ 有限会社 那須化成	
日研測量 株式会社	栃木県支部会報 4号紹介
日昌測量設計 株式会社	栃木県技術士会報16号紹介
株式会社ピーシーレールウェイコンサルタント	
	栃木県支部会報 8号紹介
株式会社 富貴沢建設コンサルタンツ	栃木県支部会報 6号紹介
富士コンサルタンツ 株式会社	
芙蓉地質 株式会社	
株式会社 水環境プランニング	栃木県技術士会報17号紹介
やまこ産業 株式会社	栃木県支部会報 2号紹介
人創り工房 Y&Kコンサルティング	

上記団体を順次ご紹介させていただきます。「★」は当号の紹介です。

編集後記

いよいよ、第46回日韓技術士国際会議が10月2~4日の3日間、本県の日光市で開催されます。県支部としては始めて開催されるため、会員の少ない本支部では運営委員会の方のご苦勞に感銘いたします。開催まで残り少ないですが成功させましょう！

さて、県支部の年次大会が6月に開催され、活動報告や活動予定が発表されました。多く会員の方々に参加していただけたように、各委員長へ「わくわくするようなプランを計画するように」と支部長から指示がありました。参加者にはどのように感じられたかわかりませんが、協力していただける会員が増えれば、さらに充実した活動が企画できると思います。会員の方々のアイデアや意見をお待ちしております。

広報委員会は本部ホームページを活用し、会員の方々に情報を伝達していきます。定期的に関覧してください。

http://www.engineer.or.jp/c_shibu/tochigi/

公益社団法人日本技術士会 栃木県支部

会報 第9号 2016年8月発行

発行者 栃木県支部（支部長 小黒 幸市）

広報委員会：委員長 西谷元則

副委員長 谷口雅昭、長山八洲稔

委員 大島晃二、大岩正通

事務局 〒321-0954

宇都宮市元今泉5丁目9-7 宇都宮まちづくりセンター内

Tel:028-666-5816/Fax: 028-666-5148